

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.232 (令和6年9月)

少しずつ肌寒く感じる季節となってまいりました。リバーキーパーズの皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年は例年よりも猛暑日が多く、10月も例年よりやや高い気温が続くと予想されています。そのため、秋の深まりが遅く、紅葉や初霜などの便りが遅くなるかもしれません。例年、香川エリアの紅葉の見頃は、10月下旬～12月上旬となっていますが、今年は少し期間がずれ、短くなる可能性があります。そのため、紅葉を見る予定の方は時期に注意しましょう。

今月号は、「香川高専土器川現場見学」「インターンシップ」「堤防決壊シミュレーション」についてお知らせいたします。

○香川高専土器川現場見学～土器川を知ってほしい～

9月25日(水)に、香川高等専門学校 建設環境工学科1年生41名の学生が、土器川の現場見学を行いました。

見学会では、国土交通省が行う河川整備や、長尾箇所(置石再配置)の対策概要の説明、実際に置石再配置状況の見学、土器川の川遊び体験を行いました。見学会の数日前に雨が降ったことにより、水位が高く、川遊びができない恐れがありましたが、当日には水位が下がり、川遊びを体験することができました。

今回の見学会を通して、国土交通省が行っている土器川の河川整備を知ること、土器川に興味を持ち、一緒に働いてくれる人材になることを期待します。



置石再配置概要説明



置石設置箇所



川遊び



河川事業の概要説明

○インターンシップ～河川行政を知る～

9月9日(月)～9月13日(金)まで、香川大学の学生1名が工務第一課に夏期実習生として職場体験を行いました。実習の最後には、1週間の体験や学んだことをもとに、ハード面・ソフト面のそれぞれの視点から土器川における流域治水対策メニューについて発表しました。

今回の経験を糧に、河川行政について興味を持ち、将来、土器川の河川整備に携わっていただけるよう期待します。



講評の様子



プレゼンの様子

土器川の歴史や現況についてよく調べ、土器川周辺地域の方々の防災意識を深めるためにどのような活動をすればよいか、しっかり考え、具体的な案を挙げてくれたよ！



○堤防決壊シミュレーション～地震編～

9月27日(木)に、地震によって堤防が決壊し、2週間後に台風が接近することを想定した堤防決壊シミュレーションを実施しました。シミュレーションでは、2週間後に来る台風に備え、応急復旧の工法、資材確保の方法などの堤防復旧方法を検討しました。地震によって堤防が決壊した場合、津波や地割れにより、運搬ルートなどを使えないことがあり、ルート選定など、いくつかの選択肢を考えて検討する必要があります。

土器川の実態に合った現場条件等を想定し、堤防決壊が発生した場合のシミュレーションを継続的に取り組むことで、早期復旧ができるよう技術の向上を図っていきます。



事前説明の様子



工法選定の様子



工程表作成の様子



検討結果発表の様子

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1619(工務第一課直通) FAX:087-821-1713

